

・ ATC 分類について

WHO の定義する化学構造や作用部位ごとにコード化された分類方法です¹。

全身使用の抗菌薬は J01 という分類群に含まれており、JSAC では J01 に該当する内服および注射抗菌薬を集計対象としています。

・ DDD について

WHO の定義する 1 日補正使用量です。70kg 成人の仮想平均維持投与量として国際比較のために設定されています。この値は 3 年に 1 回見直しが行われています² (抗菌薬については、AMR 対策のため 2 年に 1 回)。2017 年と 2019 年で大きく値の変更がありましたので過去との比較のために使い分ける場合があります³。

・ AWaRe 分類について

WHO の定義する抗菌薬適正使用の指標としての分類です⁴。ATC 分類で J01 に加えて P01AB、A07AA、J04AB の一部の薬剤を含みますが GLASS report では J04AB を除いた薬剤が対象となっています。

これらの理由により、下記 3 つの集計をそれぞれ掲載しております。

①2022 年時点の DDD を用いた集計結果 (AMR 対策アクションプラン 2023-2027) 準拠

AMR 対策アクションプラン 2023-2027 では 2022 年時点における DDD を用いて、2020 年の使用量を基準に 2027 年の抗菌薬使用量の目標を定めています。そのため、2022 年時点の DDD を使用した集計値を示しています。

また、JSAC では抗菌薬を ATC 分類 J01 と定義しているため、AWaRe 分類も同様に J01 抗菌薬を対象にして評価しています。

AMR 対策アクションプラン 2023-2027 に基づく比較を行う場合はこちらをご参照ください。

※現在まで DDD の変更はありませんので、特段の理由がない場合はこちらをご参照ください

②2017 年時点の DDD を用いた集計結果 (AMR 対策アクションプラン 2016-2020 準拠)

AMR 対策アクションプラン 2016-2020 では 2017 年以前の DDD を用いており、2013 年の使用量を基準に 2020 年の抗菌薬使用量の目標を定めています。そのため、DDD は 2 年に 1 回変更されていますが、継続的な評価のため、2017 年時点の DDD を使用した集計値を示しています。

また、JSAC では抗菌薬を ATC 分類 J01 と定義しているため、AWaRe 分類も同様に J01 抗菌薬を対象にして評価しています。

AMR 対策アクションプラン 2016-2020 に基づく比較を行う場合はこちらをご参照ください。

③最新の DDD に基づく集計結果

公開時点で最新の DDD および WHO の GLASS report に準拠した薬剤を対象に値を掲載しています。諸外国との比較においてはこちらをご参照ください。

	ATC 分類	DDD	AWaRe分類
①2022年時点のDDDを用いた集計結果 (AMR対策アクションプラン2023-2027準拠)	ATCコードJ01に分類される全身用抗菌薬を対象	2022年1月時点の値	AWaRe分類のうち、ATCコードJ01に該当する抗菌薬を対象
②2017年時点のDDDを用いた集計結果 (AMR対策アクションプラン2016-2020準拠)	ATCコードJ01に分類される全身用抗菌薬を対象	2017年1月時点の値	AWaRe分類のうち、ATCコードJ01に該当する抗菌薬を対象
③最新のDDDに基づく集計結果	ATCコードJ01に分類される全身用抗菌薬を対象	更新時点で最新の値	WHOのGLASS reportの記載に準拠

1. https://atcddd.fhi.no/atc_ddd_index/
2. https://atcddd.fhi.no/atc_ddd_alterations_cumulative/ddd_alterations/
3. KUSAMA Y et al. J Antimicrob Chemother. 2019 Oct 1;74(10):3119-3121.
4. https://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/030/AWaRe_bunrui_2023_ver2.pdf

JSAC に関する用語については下記をご参照ください。

https://amrcrc.ncgm.go.jp/surveillance/jsac_glossary.pdf

2025年11月 AMR 臨床リファレンスセンター